

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 六ヶ所村

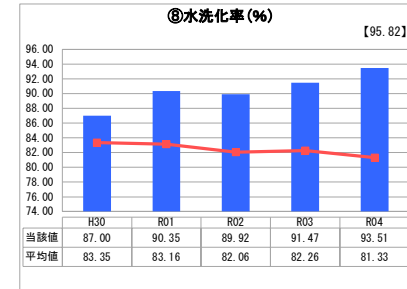
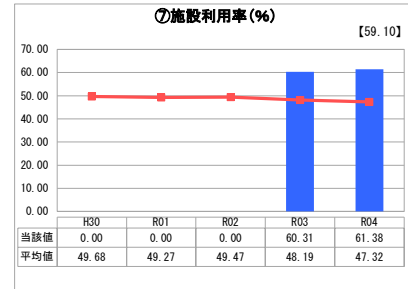
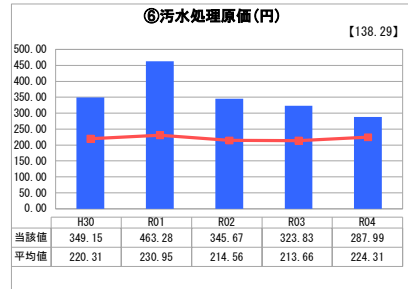
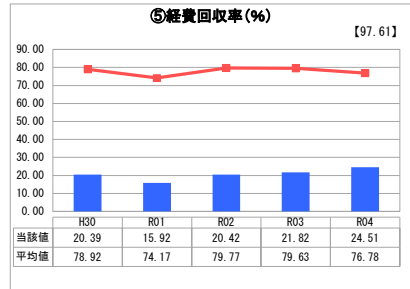
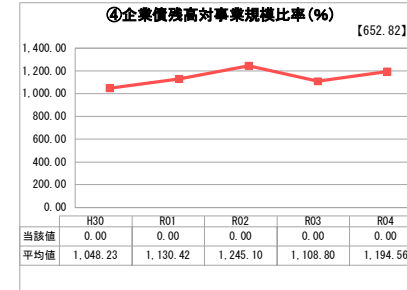
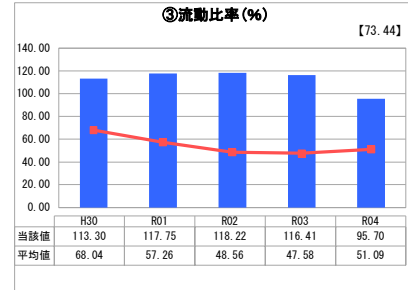
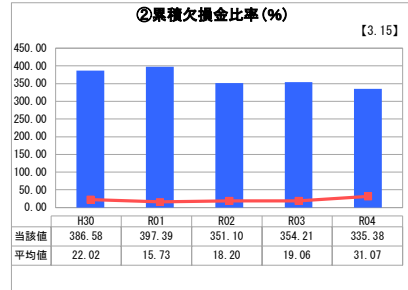
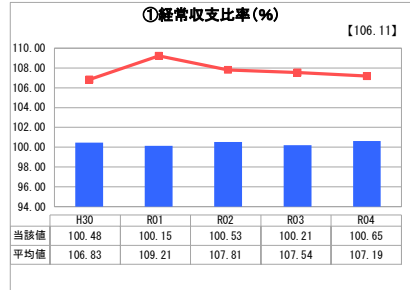
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	57.24	59.52	88.52	1,397

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,886	252.58	39.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,851	4.31	1,357.54

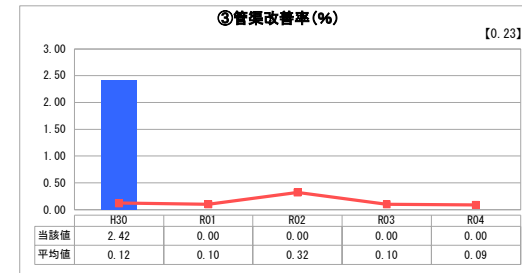
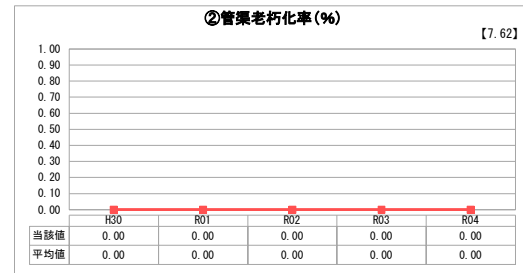
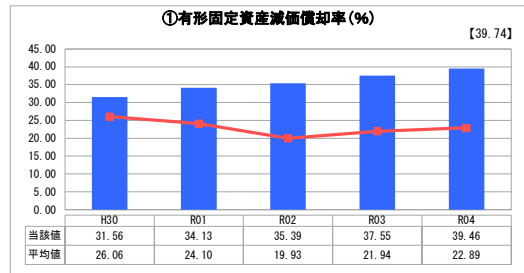
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているが、ほぼ横ばいであり、経費回収率は20%程度で推移していることから、使用料によって必要経費を賄うことが出来ていない状況であり、一般会計からの繰入金に頼っている。

累積欠損金比率は、公営企業化した際の欠損金が大きいが、徐々に減少傾向にある。しかし、まだまだ高い指標となっているため、経費回収率を高める等改善が必要である。

汚水処理原価は類似団体と比較し、若干高額となっているが、公共下水道を農業集落排水の統合を始め、徐々に減少傾向となっている。

### 2. 老朽化の状況について

公共下水道の供用開始は平成14年からであり、比較的新しい施設だが、老朽化により設備の不具合が見受けられ、今度耐用年数が経過してくことから、個々の資産の老朽化について詳細なストックマネジメント計画を策定し、適切な点検・更新を進めていく。

### 全体総括

整備が概ね完了し、水洗化率も高い水準となっているが、経費の回収は使用料収入で賄うことができず、一般会計からの繰入金に頼っている状況であり、使用料単価の改定や管理の効率化など、経費基盤の強化を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。